

対象校No. 396

注4

学校コード F113310103037

注3

設置年度 令和

6年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

実践女子大学 国際学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人実践女子学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学長室

職名・氏名 ジチョウ ヤマグチ ダイサク

次長・山口 大作

電話番号 042-585-8813 (内線: 1341)

(夜間) -

e-mail gakucho-s@jissen.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、

該当番号を記載してください。

目次

国際学部

＜国際学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	53
7. その他全般的事項	54

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人実践女子学園

(2) 大学名

実践女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒150-8538
東京都渋谷区東1-1-49
(〒191-8510
東京都日野市大坂上4-1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キジマ ヨウコ) 木島 葉子 (令和6年4月)		
学長	(ナンバ マサノリ) 難波 雅紀 (令和3年4月)		
学部長	(タケウチ カズヨシ) 武内 一良 (令和6年4月)		
学科長等	(ミタ カオル) 三田 薫 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 国際学科 学士(国際学)	文学関係	4 年	120 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	480 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120人	-人				
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	607	(-)				
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	552	(-)				
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	322	(-)				
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	142	(-)				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.18	-		1.18倍		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設け方を中止している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択し、備考欄に「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	142	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	142	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	142 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	- 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{142} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

情報リテラシー教育・実践	情報スキル基礎	1前・後	1							11
	情報リテラシー応用a	1前・後	2							2
	情報リテラシー応用b	1前・後	2							7
	情報リテラシー応用c	1前・後	2							5
	情報リテラシー応用d	1前・後	2							2
	情報リテラシー応用e	1後	2							1
小計(6科目)	-	0	11	0	0	0	0	0	0	24
実践プロジェクト	実践プロジェクトa	1前	2							2
	実践プロジェクトb	2前	2							2
	実践プロジェクトc	2後	2							2
	ボランティアプロジェクトa	1前・後	1							1
	ボランティアプロジェクトb	1前・後	1							1
小計(5科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	7
共通教育科目・ジェンダーについて学ぶ	ジェンダー論入門	1前・後	2							2
	女性の歴史	1後	2							1
	女性の健康	2	2							1
	文学とジェンダー	1前	2							1
	国際社会とジェンダー	1前	2							3
	女性教育とジェンダー	1前・後	2							1
	ジェンダーと心理	1前・後	2							1
小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	9
共通教育科目・教養教育科目・人間を究める	哲学入門	1前・後	2							2
	現代の思想	1前・後	2							1
	言語学入門	1後	2	1						1
	倫理学入門	1前	2							1
	生命と環境の倫理	1後	2							1
	社会思想入門	1後	2							2
	東洋思想入門	1後	2							1
	世界の宗教	1前・後	2							1
	日本の古典文学	1前・後	2							2
	日本の近現代文学	1前・後	2							1
	西洋の文学	1前・後	2							1
	児童文学入門	1前・後	2							2
	文化人類学入門	1後	2							1
	美術の世界	1前・後	2							1
	音楽の世界	1前・後	2							1
	映像文化論	1前・後	2							2
	日本の伝統文化	1前・後	2							1
	心理学入門	1前・後	2							3
	人間関係の心理学	1前・後	2							2
	心の健康	1前・後	2							2
	日本のポップカルチャー	1後	2							1
	ファッションの世界	1前	2							1
	世界のファンタジー	1前	2							1
小計(23科目)	-	0	46	0	1	0	0	0	0	29
共通教育科目・教養教育科目・社会を捉える	地域研究a	1前・後	2							2
	地域研究b	1前	2							1
	食文化論	1前・後	2							1
	衣文化論	1前・後	2							2
	生活とデザイン	1前・後	2							2
	社会とデザイン	1前	2							1
	メディア論	1前・後	2							3
	サブカルチャー論	1前・後	2							2
	教育学	1前	2							2
	日本国憲法	1前・後	2							2
	法学入門	1後	2							2
	日本の政治	1前	2							1
	国際政治の基礎	1後	2							1
	日本の経済	1前	2							2
	国際経済の基礎	1後	2							2
	日本史	1前	2							1
	西洋史	1前	2							1
	東洋史	1前・後	2							1
	地理学	1前・後	2							1
	社会学入門	1前	2							1
	社会保障論	1前	2							1
	日常生活と法	2	2							1
	金融リテラシー入門	1前	2							1
小計(23科目)	-	0	46	0	0	0	0	0	0	31
共通教育科目・教養教育科目・自然と環境を捉える	数学的思考	1後	2							4
	統計的思考	1前・後	2							2
	くらしの化学	1後	2							4
	くらしの人間工学	1前・後	2							1
	生活環境の科学	1前・後	2							12
	生命の科学	1前・後	2							2
	身体科学	1前	2							1
	宇宙の科学	1前	2							2
	地球と環境の科学	1前・後	2							2
	科学技術と人間	1前・後	2							1
	農業と食料	1後	2							1
	バイオの世界	1前・後	2							1
	防災の科学	1前・後	2							1
小計(13科目)	-	0	26	0	0	0	0	0	0	22

情報リテラシー教育・実践	情報スキル基礎	1前・後	1							10
	情報リテラシー応用a	1前・後	2							2
	情報リテラシー応用b	1前・後	2							4
	情報リテラシー応用c	1前・後	2							5
	情報リテラシー応用d	1前・後	2							1
	情報リテラシー応用e	1前・後	2							2
小計(6科目)	-	0	11	0	0	0	0	0	0	20
実践プロジェクト	実践プロジェクトa	1前	2							2
	実践プロジェクトb	2前	2							2
	実践プロジェクトc	2後	2							3
	ボランティアプロジェクトa	1前・後	1							1
	ボランティアプロジェクトb	1前・後	1							1
小計(5科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	8
共通教育科目・ジェンダーについて学ぶ	ジェンダー論入門	1前・後	2							2
	女性の歴史	1後	2							1
	女性の健康	2	2							1
	文学とジェンダー	1前	2							1
	国際社会とジェンダー	1前	2							1
	女性教育とジェンダー	1前・後	2							2
	ジェンダーと心理	1前・後	2							1
小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	8
共通教育科目・教養教育科目・人間を究める	哲学入門	1前・後	2							1
	現代の思想	1前・後	2							2
	言語学入門	1後	2	1						1
	倫理学入門	1前	2							1
	生命と環境の倫理	1後	2							1
	社会思想入門	1後	2							2
	東洋思想入門	1後	2							1
	世界の宗教	1前・後	2							1
	日本の古典文学	1前・後	2							2
	日本の近現代文学	1前・後	2							1
	西洋の文学	1前・後	2							1
	児童文学入門	1前・後	2							2
	文化人類学入門	1後	2							1
	美術の世界	1前・後	2							1
	音楽の世界	1前・後	2							1
	映像文化論	1前・後	2							2
	日本の伝統文化	1前・後	2							1
	心理学入門	1前・後	2							3
	人間関係の心理学	1前・後	2							2
	心の健康	1前・後	2							2
	日本のポップカルチャー	1後	2							1
	ファッションの世界	1前	2							1
	世界のファンタジー	1前	2							1
小計(23科目)	-	0	46	0	1	0	0	0	0	28
共通教育科目・教養教育科目・社会を捉える	地域研究a	1前・後	2							2
	地域研究b	1前	2							1
	食文化論	1前・後	2							1
	衣文化論	1前・後	2							2
	生活とデザイン	1前・後	2							2
	社会とデザイン	1前	2							1
	メディア論	1前・後	2							3
	サブカルチャー論	1前・後	2							2
	教育学	1前	2							2
	日本国憲法	1前・後	2							2
	法学入門	1後	2							2
	日本の政治	1前	2							1
	国際政治の基礎	1後	2							1
	日本の経済	1前	2							2
	国際経済の基礎	1後	2							2
	日本史	1前	2							1
	西洋史	1前	2							1
	東洋史	1前・後	2							1
	地理学	1前・後	2							1
	社会学入門	1前	2							1
	社会保障論	1前	2							1
	日常生活と法	2	2							1
	金融リテラシー入門	1後	2							1
小計(23科目)	-	0	46	0	0	0	0	0	0	33
共通教育科目・教養教育科目・自然と環境を捉える	数学的思考	1後	2							4
	統計的思考	1前・後	2							2
	くらしの化学	1後	2							4
	くらしの人間工学	1前・後	2							1
	生活環境の科学	1前・後	2							12
	生命の科学	1前・後	2							2
	身体科学	1前	2							1
	宇宙の科学	1前	2							2
	地球と環境の科学	1前・後	2							2
	科学技術と人間	1前・後	2							1
	農業と食料	1後	2							1
	バイオの世界	1前・後	2							1
	防災の科学	1前・後	2							1
小計(13科目)	-	0	26	0	0	0	0	0	0	32

卒業要件及び履修方法
①共通教育科目： 必修科目8単位、選択必修科目6単位以上(「人間を究める」「社会を捉える」「自然と環境を探る」の分野から各2単位以上、)、 合計28単位
②専門教育科目： 必修科目38単位、選択必修科目17単位(専門応用展開科目の3年次配当科目ら8単位以上、海外留学a・b・c・dから9単位以上)、 合計76単位
③その他： ①、②の要件の他、共通教育科目、専門教育科目の選択科目から合計20単位以上
①、②、③の要件を満たし、合計124単位以上 (履修登録単位数の制限：各学期(セメスター)22単位)

卒業要件及び履修方法
①共通教育科目： 必修科目8単位、選択必修科目6単位以上(「人間を究める」「社会を捉える」「自然と環境を探る」の分野から各2単位以上、)、 合計28単位
②専門教育科目： 必修科目38単位、選択必修科目17単位(専門応用展開科目の3年次配当科目ら8単位以上、海外留学a・b・c・dから9単位以上)、 合計76単位
③その他： ①、②の要件の他、共通教育科目、専門教育科目の選択科目から合計20単位以上
①、②、③の要件を満たし、合計124単位以上 (履修登録単位数の制限：各学期(セメスター)22単位)

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例：記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

<ul style="list-style-type: none">・共通教育科目の科目区分配置の見直しにより、「海外短期インターンシップ」の科目区分を「実践アドバンスト科目／外国語教育科目」から「実践アドバンスト科目／キャリア教育科目」に変更。・共通教育科目の科目区分配置の見直しにより、「海外長期インターンシップ」の科目区分を「実践アドバンスト科目／外国語教育科目」から「実践アドバンスト科目／キャリア教育科目」に変更。・教育課程の充実のため、共通教育科目に「Study Abroad a」を追加し、「兼任教員1」を配置。・教育課程の充実のため、共通教育科目に「Study Abroad b」を追加し、「兼任教員1」を配置。・教育課程の充実のため、共通教育科目に「Study Abroad c」を追加し、「兼任教員1」を配置。・教育課程の充実のため、共通教育科目に「Study Abroad d」を追加し、「兼任教員1」を配置。・教育課程の充実のため、共通教育科目に「グローバルインターンシップa」を追加し、「兼任教員1」を配置。・教育課程の充実のため、共通教育科目に「グローバルインターンシップb」を追加し、「兼任教員1」を配置。・時間割調整のため、共通教育科目の「情報リテラシー応用e」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。・時間割調整のため、共通教育科目の「言語学入門」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。・時間割調整のため、共通教育科目の「社会とデザイン」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。・時間割調整のため、共通教育科目の「金融リテラシー入門」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。・時間割調整のため、共通教育科目の「くらしの化学」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。・時間割調整のため、共通教育科目の「オープン講座a」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。 <ul style="list-style-type: none">・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「Global Studies g」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「Global Studies h」の教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「情報スキル基礎」の教員等の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任10」に変更。・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「情報リテラシー応用b」の教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任4」に変更。・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「情報リテラシー応用d」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「情報リテラシー応用e」の教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「実践プロジェクトc」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「女性教育とジェンダー」の教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「実践教養講座c」の教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任7」に変更。・授業運営上の都合のため、共通教育科目の「実践教養講座i」の教員等の配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任9」に変更。・授業運営上の都合のため、専門教育科目の「地域経営学入門a」の教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。・授業運営上の都合のため、専門教育科目の「地域経営学入門b」の教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。 <ul style="list-style-type: none">・教育課程の充実のため、共通教育科目の「くらしの化学」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。・教育課程の充実のため、共通教育科目の「生活環境の科学」の教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任12」に変更。・教育課程の充実のため、共通教育科目の「実践教養講座d」の教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1、兼任・兼任4」に変更。 <ul style="list-style-type: none">・専任教員就任辞退に伴い、専門教育科目の「情報コミュニケーション論」の教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。・専任教員就任辞退に伴い、専門教育科目の「国際メディア論」の教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
25 科目	260 科目	0 科目	285 科目	25 科目 [0]	266 科目 [6]	0 科目 [0]	291 科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{285} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地と別地 (電車・徒歩70分)			
	校舎敷地	37,685 m ²	0 m ²	0 m ²	37,685 m ²				
	運動場用地	32,716 m ²	0 m ²	0 m ²	32,716 m ²				
	小 計	70,401 m ²	0 m ²	0 m ²	70,401 m ²				
	そ の 他	2,546 m ²	0 m ²	0 m ²	2,546 m ²				
	合 計	72,947 m ²	0 m ²	0 m ²	72,947 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	56,251 m ² (56,251 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	56,251 m ² (56,251 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	88 室	41 室	59 室	7 室 (補助職員 5人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	国際学部 国際学科			11 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機 械・器 具	標 本	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 図書、学術雑誌、電子 ジャーナル、視聴覚資 料実績(6)	
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	国際学部 国際学科	759,600 [111,500] (774,598 [98,759]) -(735,600 [110,000])	70,810 [61,186] (70,200 [62,000]) -(70,810 [61,186])	60,000 [60,000] (61,000 [61,000]) -(60,000 [60,000])	10,250 (17,136) -(9,950)	0 (0)	0 (0)		
	計	759,600 [111,500] (774,598 [98,759]) -(735,600 [110,000])	70,810 [61,186] (70,200 [62,000]) -(70,810 [61,186])	60,000 [60,000] (61,000 [61,000]) -(60,000 [60,000])	10,250 (17,136) -(9,950)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	6,523 m ²		626	558,388					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	2,245 m ²		テニスコート 4面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子 ジャーナル、データ ベース、その他の経費 (運用コスト)を含 む。 図書購入費実績(6) 設備購入費実績(6)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	514千円 600千円	2,400千円	6,000千円	
	共 同 研 究 費 等	1,000千円	2,000千円	設備購入費	7,676千円 500千円	3,000千円	5,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,390千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		実践女子大学					収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部	4	310	20	1280	-	1.10	-	-	昭和40	-	
国文学科	4	110	9	458	学士(文学)	1.12	-	-	昭和40	東京都渋谷区東1丁目1番49号	
英文学科	4	110	9	458	学士(文学)	1.04	-	-	昭和40	同上	
美学美術史学科	4	90	2	364	学士(文学)	1.14	-	-	昭和60	同上	
生活科学部	4	410	4	1648	-	1.04	-	-	昭和40	-	
食生活科学科	4	185	-	740	-	1.02	-	-	昭和40	東京都日野市大坂上4丁目1番地の1	
管理栄養士専攻	4	70	-	280	学士(生活科学)	1.06	-	-	昭和41	同上	
食物科学専攻	4	75	-	300	学士(生活科学)	0.99	-	-	昭和41	同上	
健康栄養専攻	4	40	-	160	学士(生活科学)	0.99	-	-	平成25	同上	
生活環境学科	4	80	2	324	学士(生活科学)	1.08	-	-	昭和40	同上	
生活文化学科	4	85	2	344	-	1.03	-	-	平成7	同上	
生活心理専攻	4	40	2	164	学士(生活科学)	1.07	-	-	平成19	同上	
幼児保育専攻	4	45	-	180	学士(生活科学)	0.98	-	-	平成19	同上	
現代生活学科	4	60	-	240	学士(生活科学)	1.04	-	-	平成26	同上	
人間社会学部	4	260	-	860	-	1.15	-	-	平成16	-	
人間社会学科	4	100	-	400	学士(人間社会学)	1.18	-	-	平成16	東京都渋谷区東1丁目1番49号	
ビジネス社会学科	4	80	-	380	学士(人間社会学)	1.11	-	-	平成23	同上	令和6年度から入学定員変更(100→80)及び名称変更
社会デザイン学科	4	80	-	80	学士(人間社会学)	1.21	-	-	令和6	同上	
国際学部	4	120	-	120	-	1.18	-	-	令和6	-	
国際学科	4	120	-	120	学士(国際学)	1.18	-	-	令和6	東京都渋谷区東1丁目1番49号	
大学全体	4	1100	3年次24	3908	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<国際学部 国際学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	萩野 敏 <令和6年4月> 教育学修士
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 情報コミュニケーション論 国際メディア論 英語発音論 マスメディア演習 ソーシャルメディア演習 国際文化演習 b 日本のメディア文化 コンテンツ産業論 社会統計学入門
専	教授	小牧 幸代 <令和6年4月> 博士(学術)
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 国際文化論 a 国際文化論 b 多文化共生論 世界の民族と宗教 海外文化事情 b 国際文化資源論 国際文化演習 a 国際文化事前研修
専	教授	大塚 みさ <令和7年4月> 文学修士
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 日本語学入門 a 日本語学入門 b 海外の日本文学 日本語教育入門 a 日本語教育入門 b 日本文化事情 a 日本文化特別講義 b 日本文化演習 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	
専	教授	小牧 幸代 <令和6年4月> 博士(学術)
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 国際文化論 a 国際文化論 b 多文化共生論 世界の民族と宗教 海外文化事情 b 国際文化資源論 国際文化演習 a 国際文化事前研修
専	教授	大塚 みさ <令和7年4月> 文学修士
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 日本語学入門 a 日本語学入門 b 海外の日本文学 日本語教育入門 a 日本語教育入門 b 日本文化事情 a 日本文化特別講義 b 日本文化演習 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大塚 みさ <令和6年4月> 文学修士
		実践入門セミナー 日本語学入門 a 日本語学入門 b 海外の日本文学 日本語教育入門 a
専	教授	三田 薫 <令和6年4月> 教育学修士
		Integrated English a 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 Effective Communication a※ Effective Communication b※ English Workshop a English Workshop b English Workshop c English Workshop d English Education for Children 国際コミュニケーション演習 a 海外文化事情 f 国内インターンシップ a 国内インターンシップ b 国内インターンシップ c 国内インターンシップ d
専	教授	藤原 正道 <令和7年4月> 教育学修士
		言語学入門 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 English Grammar 英語学入門 a 英語学入門 b 認知文法論 ポライトネス論 国際コミュニケーション特別講義 b 国際コミュニケーション演習 b 海外留学 a 海外留学 b 海外留学 c 海外留学 d
兼任	講師	藤原 正道 <令和6年4月> 教育学修士
		言語学入門 英語学入門 a 英語学入門 b 認知文法論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大塚 みさ <令和6年4月> 文学修士
		実践入門セミナー 基礎演習 日本語学入門 a 日本語学入門 b 海外の日本文学 日本語教育入門 a
専	教授	三田 薫 <令和6年4月> 教育学修士
		実践入門セミナー 基礎演習 Integrated English a 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 Effective Communication a※ Effective Communication b※ English Workshop a English Workshop b English Workshop c English Workshop d English Education for Children 国際コミュニケーション演習 a 海外文化事情 f 国内インターンシップ a 国内インターンシップ b 国内インターンシップ c 国内インターンシップ d
専	教授	藤原 正道 <令和7年4月> 教育学修士
		言語学入門 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 English Grammar 英語学入門 a 英語学入門 b 認知文法論 ポライトネス論 国際コミュニケーション特別講義 b 国際コミュニケーション演習 b 海外留学 a 海外留学 b 海外留学 c 海外留学 d
兼任	講師	藤原 正道 <令和6年4月> 教育学修士
		言語学入門 英語学入門 a 英語学入門 b 英語発音論 認知文法論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	九里 徳泰 <令和7年4月> 博士(工学)
		専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 地域経営学入門 a 地域経営学入門 b 国際経営学 マーケティング概論 地域政策論 観光英語 地域ブランディング 地域活動企画 地域文化特別講義 a 地域文化特別講義 b
兼任	講師	九里 徳泰 <令和6年4月> 博士(工学)
		地域経営学入門 a 地域経営学入門 b
専	准教授	久保田(高見)佳枝 <令和6年4月> 修士(異文化コミュニケーション)
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 異文化コミュニケーション論 a 異文化コミュニケーション論 b 対人コミュニケーション論 集団・組織コミュニケーション論 国際コミュニケーション特別講義 a 海外文化事情 e 国際キャリア論 国際文化事前研修
専	准教授	Svetlana KORNEEVA <令和6年4月> 博士(学術)
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 日本文化論 a 日本文化論 b 現代日本社会論 日本文化資源論 民俗伝統芸能論 日本文化事情 b 日本文化特別講義 a 日本文化演習 a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	九里 徳泰 <令和7年4月> 博士(工学)
		専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 地域経営学入門 a 地域経営学入門 b 国際経営学 マーケティング概論 地域政策論 観光英語 地域ブランディング 地域活動企画 地域文化特別講義 a 地域文化特別講義 b
専	准教授	久保田(高見)佳枝 <令和6年4月> 修士(異文化コミュニケーション)
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 異文化コミュニケーション論 a 異文化コミュニケーション論 b 対人コミュニケーション論 集団・組織コミュニケーション論 国際コミュニケーション特別講義 a 海外文化事情 e 国際キャリア論 国際文化事前研修
専	准教授	Svetlana KORNEEVA <令和6年4月> 博士(学術)
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 日本文化論 a 日本文化論 b 現代日本社会論 日本文化資源論 民俗伝統芸能論 日本文化事情 b 日本文化特別講義 a 日本文化演習 a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	Michael Anthony Edwards <令和6年4月> MA in TESOL (米国)
		Integrated English b Global Studies c Global Studies d 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 Effective Communication a※ Effective Communication c Advanced Reading Advanced Writing Speaking & Presentation a Speaking & Presentation b Practical English b Global Seminar a Global Seminar b
専	講師	寺本(昔農)めぐ美 <令和7年4月> 博士(国際関係学)
		専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 国際社会学 a 国際社会学 b 国際関係論 比較文化論 海外文化事情 c 国際政治学 グローバル化論 国際文化特別講義 a 国際文化特別講義 b 地域社会論
兼任	講師	寺本(昔農)めぐ美 <令和6年4月> 博士(国際関係学)
		国際社会学 a 国際社会学 b 国際関係論 比較文化論
専	教授	武内 一良 <令和6年4月> 博士(観光学)
		実践入門セミナー 基礎演習 観光学入門 a 観光学入門 b ホスピタリティ論 地域観光事業 a 地域観光事業 b 国際文化事前研修

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	Michael Anthony Edwards <令和6年4月> MA in TESOL (米国)
		Integrated English b Global Studies c Global Studies d 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 Effective Communication a※ Effective Communication c Advanced Reading Advanced Writing Speaking & Presentation a Speaking & Presentation b Practical English b Global Seminar a Global Seminar b
専	講師	寺本(昔農)めぐ美 <令和7年4月> 博士(国際関係学)
		専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 国際社会学 a 国際社会学 b 国際関係論 比較文化論 海外文化事情 c 国際政治学 グローバル化論 国際文化特別講義 a 国際文化特別講義 b 地域社会論
兼任	講師	寺本(昔農)めぐ美 <令和6年4月> 博士(国際関係学)
		国際社会学 a 国際社会学 b 国際関係論 比較文化論
専	教授	武内 一良 <令和6年4月> 博士(観光学)
		実践入門セミナー 基礎演習 実践教養講座 d 観光学入門 a 観光学入門 b ホスピタリティ論 地域観光事業 a 地域観光事業 b 国際文化事前研修

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	王 川 菲 <令和8年4月> 博士(グローバル社会研究)
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 観光学入門 a 観光学入門 b ホスピタリティ論 地域観光事業 a 地域観光事業 b 地域観光演習 a 地域観光演習 b 国際文化事前研修
兼任	教授	粟津 俊二 <令和6年4月> 博士(文学)
		短期インターンシップ 長期インターンシップ ボランティアプロジェクト a ボランティアプロジェクト b
兼任	教授	池田(飯泉)三枝子 <令和6年4月> 修士(文学)
		実践教養講座 b
兼任	教授	稲垣 伸一 <令和6年9月> 文学修士
		実践教養講座 h ※
兼任	教授	上野(今野)英子 <令和6年9月> 博士(文学)
		日本の古典文学
兼任	教授	大川 知子 <令和6年4月> 博士(経営学)
		衣文化論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	王 川 菲 <令和8年4月> 博士(グローバル社会研究)
		実践入門セミナー 基礎演習 専門演習 a 専門演習 b 卒業研究 観光学入門 a 観光学入門 b ホスピタリティ論 地域観光事業 a 地域観光事業 b 地域観光演習 a 地域観光演習 b 国際文化事前研修
兼任	教授	粟津 俊二 <令和6年4月> 博士(文学)
		短期インターンシップ 長期インターンシップ ボランティアプロジェクト a ボランティアプロジェクト b
兼任	教授	安齋 利典 <令和6年4月> 博士(工学)
		生活環境の科学 ※
兼任	教授	池田(飯泉)三枝子 <令和6年4月> 修士(文学)
		実践教養講座 b ※
兼任	教授	稲垣 伸一 <令和6年9月> 文学修士
		実践教養講座 h ※
兼任	教授	上野(今野)英子 <令和6年9月> 博士(文学)
		日本の古典文学
兼任	教授	大川 知子 <令和6年4月> 博士(経営学)
		衣文化論 生活環境の科学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	於保 祐子 <令和6年4月> 博士(医学)
		Global Studies d※ 身体の科学 実践教養講座 i ※
兼任	教授	角本 伸晃 <令和6年9月> 経済学博士
		数学的思考※
兼任	教授	齋藤 洋 <令和6年4月> 博士(工学)
		データサイエンス入門 情報スキル基礎 情報リテラシー応用 c 実践教養講座 e
兼任	教授	佐々木 溪門 <令和6年9月> 博士(生物環境調整学)
		実践教養講座 c ※ 実践教養講座 i ※
兼任	教授	佐々木 真理 <令和6年9月> 文学修士
		実践教養講座 h ※
兼任	教授	佐藤 幸子 <令和6年9月> 博士(食物栄養学)
		実践教養講座 i ※
兼任	教授	佐藤 健 <令和6年4月> 博士(工学)
		情報リテラシー応用 d くらしの人間工学 身体運動の科学 a 身体運動の科学 b スポーツ応用科学実習 実践教養講座 c ※
兼任	教授	権原 伸博 <令和6年9月> 芸術学修士
		実践プロジェクト c 実践教養講座 h ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	於保 祐子 <令和6年4月> 博士(医学)
		Global Studies d※ 身体の科学 実践教養講座 i ※
兼任	教授	角本 伸晃 <令和6年9月> 経済学博士
		数学的思考※
兼任	教授	齋藤 洋 <令和6年4月> 博士(工学)
		情報リテラシー応用 c 実践教養講座 e
兼任	教授	佐々木 溪門 <令和6年9月> 博士(生物環境調整学)
		実践教養講座 c ※ 実践教養講座 i ※
兼任	教授	佐々木 真理 <令和6年9月> 文学修士
		実践教養講座 h ※
兼任	教授	佐藤 幸子 <令和6年9月> 博士(食物栄養学)
		実践教養講座 i ※
兼任	教授	佐藤 健 <令和6年4月> 博士(工学)
		くらしの人間工学 生活環境の科学※ 身体運動の科学 a 身体運動の科学 b スポーツ応用科学実習 実践教養講座 c ※
兼任	教授	権原 伸博 <令和6年9月> 芸術学修士
		実践プロジェクト c 実践教養講座 h ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	塩川 宏郷 <令和6年9月> 博士(医学)
		実践教養講座 c ※
兼任	教授	島崎 あかね <令和6年4月> 博士(環境共生学)
		身体運動の科学 a 身体運動の科学 b 基礎スポーツ実習 a 基礎スポーツ実習 b 健康体力科学演習 アダプテッドスポーツ
兼任	教授	下山 肇 <令和6年9月> 学士(造形)
		実践プロジェクト b 実践教養講座 h ※
兼任	教授	Schmicmel, Jacob <令和6年4月> Master of Arts (米国)
		Global Studies b
兼任	教授	白尾 美佳 <令和6年9月> 医学博士
		実践教養講座 c ※ 実践教養講座 i ※
兼任	教授	杉山 靖正 <令和6年9月> 博士(農業)
		実践教養講座 i ※
兼任	教授	清田 夏代 <令和6年4月> 博士(教育学)
		Global Studies e 女性教育とジェンダー ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	塩川 宏郷 <令和6年9月> 博士(医学)
		実践教養講座 c ※
兼任	教授	塩原 みゆき <令和6年4月> 博士(学術)
		生活環境の科学 ※
兼任	教授	島崎 あかね <令和6年4月> 博士(環境共生学)
		身体運動の科学 a 身体運動の科学 b 基礎スポーツ実習 a 基礎スポーツ実習 b 健康体力科学演習 アダプテッドスポーツ
兼任	教授	下山 肇 <令和7年4月> 学士(造形)
		実践プロジェクト b
兼任	教授	Schmicmel, Jacob <令和6年4月> Master of Arts (米国)
		Global Studies b
兼任	教授	白尾 美佳 <令和6年9月> 医学博士
		実践教養講座 c ※ 実践教養講座 i ※
兼任	教授	杉山 靖正 <令和6年4月> 博士(農業)
		実践教養講座 i ※ くらしの化学 ※
兼任	教授	清田 夏代 <令和6年4月> 博士(教育学)
		Global Studies e 女性教育とジェンダー ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高橋 桂子 <令和6年4月> 博士(社会科学)
		ライフデザイン 金融リテラシー入門 数学的思考※
兼任	教授	高橋 裕樹 <令和6年4月> 修士(経営学)
		キャリアデザイン グローバル・キャリアデザイン 実践プロジェクト a
兼任	教授	竹内 光悦 <令和6年4月> 博士(理学)
		統計的思考
兼任	教授	橋 弘志 <令和6年4月> 博士(工学)
		実践教養講座 g
兼任	教授	中村 彰男 <令和6年9月> 博士(医学)
		実践教養講座 i ※
兼任	教授	中山 誠一 <令和6年4月> 博士(教育学)
		Global Studies a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高橋 桂子 <令和6年9月> 博士(社会科学)
		ライフデザイン 金融リテラシー入門 数学的思考※
兼任	教授	高橋 裕樹 <令和6年4月> 修士(経営学)
		キャリアデザイン グローバル・キャリアデザイン 実践プロジェクト a
兼任	教授	竹内 光悦 <令和6年4月> 博士(理学)
		統計的思考
兼任	教授	橋 弘志 <令和6年4月> 博士(工学)
		生活環境の科学 ※ 実践教養講座 g
兼任	教授	内藤 将俊 <令和6年4月> 修士(工学)
		生活環境の科学 ※
兼任	教授	中村 彰男 <令和6年4月> 博士(医学)
		くらしの化学 ※ 実践教養講座 i ※
兼任	教授	中山 誠一 <令和6年4月> 博士(教育学)
		Global Studies a 海外語学研修 a 海外語学研修 b 海外語学研修 c 海外語学研修 d 海外語学研修 e 海外語学研修 f 海外語学研修 g 海外語学研修 h 海外短期インターンシップ 海外長期インターンシップ Study Abroad a Study Abroad b Study Abroad c Study Abroad d グローバルインターンシップ a グローバルインターンシップ b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	奈良 一寛 ＜令和6年9月＞ 博士(農学)
		実践教養講座 i ※
兼任	教授	広井 多鶴子 ＜令和6年9月＞ 教育学修士
		女性教育とジェンダー※ 実践教養講座 h ※
兼任	教授	深澤 晶久 ＜令和6年4月＞ 法学士
		キャリアデザイン グローバル・キャリアデザイン キャリア開発実践論 国際理解とキャリア形成 女性とキャリア形成 キャリア・ショーケース 実践プロジェクト a
兼任	教授	Bulach, Juergen ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		ドイツ語 1 a ドイツ語 1 b ドイツ語 2 a ドイツ語 2 b 海外語学研修 a 海外語学研修 b 海外語学研修 c 海外語学研修 d 海外語学研修 e 海外語学研修 f 海外語学研修 g 海外語学研修 h 海外短期インターンシップ 海外長期インターンシップ
兼任	教授	榎 究 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		実践教養講座 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	奈良 一寛 ＜令和6年9月＞ 博士(農学)
		実践教養講座 i ※
兼任	教授	難波 雅紀 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		実践教養講座 d ※
兼任	教授	広井 多鶴子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		実践教養講座 d ※
兼任	教授	深澤 晶久 ＜令和6年4月＞ 法学士
		キャリアデザイン グローバル・キャリアデザイン キャリア開発実践論 国際理解とキャリア形成 女性とキャリア形成 キャリア・ショーケース 実践プロジェクト a
兼任	教授	Bulach, Juergen ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		ドイツ語 1 a ドイツ語 1 b ドイツ語 2 a ドイツ語 2 b
兼任	教授	Bruna, Lukas ＜令和6年9月＞ 博士(文学)
		実践教養講座 h ※
兼任	教授	榎 究 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		生活環境の科学 ※ 実践教養講座 b ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松島 照彦 <令和6年9月> 博士(医学)
		実践教養講座 c ※ 実践教養講座 i ※
兼任	教授	武笠 朗 <令和6年4月> 芸術学修士
		実践教養講座 b
兼任	教授	山崎 和彦 <令和6年4月> 医学博士
		生活環境の科学
兼任	教授	山崎 壮 <令和6年9月> 薬学博士
		Global Studies d ※ くらしの化学 ※ 実践教養講座 i ※
兼任	准教授	加藤木 秀章 <令和6年9月> 博士(工学)
		くらしの化学 ※ 実践教養講座 c ※
兼任	准教授	倉持 一 <令和6年9月> 博士(経営学)
		実践教養講座 c ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山崎 壮 <令和6年4月> 薬学博士
		Global Studies d ※ くらしの化学 ※ 実践教養講座 i ※
兼任	准教授	一色 ヒロタカ (博責) <令和6年4月> 修士 ※ (工学)
		実践プロジェクト c 生活環境の科学 ※
兼任	准教授	織田 涼子 <令和6年4月> 博士(美術)
		実践教養講座 b ※
兼任	准教授	加藤木 秀章 <令和6年4月> 博士(工学)
		くらしの化学 ※ 生活環境の科学 ※ 実践教養講座 c ※
兼任	准教授	倉持 一 <令和6年9月> 博士(経営学)
		実践教養講座 c ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	筒井 晴香 ＜令和6年9月＞ 博士(学術) 情報スキル基礎
兼担	准教授	奈良 典子 ＜令和6年9月＞ 修士(教育学) 実践教養講座 i ※
兼担	准教授	橋詰 秋子 ＜令和6年9月＞ 博士(図書館・情報学) オープン講座 a ※
兼担	准教授	渡辺 敏 ＜令和6年9月＞ 修士(教育学) 数学的思考
兼担	講師	大澤(三宅) 朋子 ＜令和6年9月＞ 博士(社会福祉学) 実践教養講座 c ※
兼担	講師	鹿島(鈴木) 千穂 ＜令和6年4月＞ 修士(学術) 実践キャリアプランニング メディア論 オープン講座 a ※ クォーターオープン講座 c
兼担	講師	金津 謙 ＜令和6年4月＞ 修士(法学) 日本国憲法 法学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	滝澤 愛 ＜令和6年4月＞ 学士(家政) 生活環境の科学※
兼担	准教授	筒井 晴香 ＜令和6年9月＞ 博士(学術) 情報スキル基礎
兼担	准教授	奈良 典子 ＜令和6年9月＞ 修士(教育学) 実践教養講座 i ※
兼担	准教授	橋詰 秋子 ＜令和6年4月＞ 博士(図書館・情報学) オープン講座 a ※
兼担	准教授	渡辺 敏 ＜令和6年9月＞ 修士(教育学) 数学的思考
兼担	准教授	大澤(三宅) 朋子 ＜令和6年9月＞ 博士(社会福祉学) 実践教養講座 c ※
兼担	講師	鹿島(鈴木) 千穂 ＜令和6年4月＞ 修士(学術) メディア論 オープン講座 a ※ クォーターオープン講座 c
兼担	講師	金津 謙 ＜令和6年4月＞ 修士(法学) 日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河井 延晃 ＜令和6年9月＞ 修士(学際情報学)
		メディア論
兼任	講師	久保(福家) 貴子 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		女性教育とジェンダー※ 実践教養講座 d
兼任	講師	田中 瑛 ＜令和6年9月＞ 博士(社会情報学)
		情報スキル基礎
兼任	講師	Valise, Kinsella ＜令和6年4月＞ 修士(応用言語学)
		Effective Speaking Active Reading Active Listening Global Studies h
兼任	講師	相川(新田) 愛美 ＜令和6年4月＞ Ph.D. (History) (インド)
		地域研究 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河井 延晃 ＜令和6年9月＞ 修士(学際情報学)
		メディア論
兼任	講師	久保(福家) 貴子 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		女性教育とジェンダー※ 実践教養講座 d ※
兼任	講師	神山 静香 ＜令和6年9月＞ 博士(法学)
		実践教養講座 h ※
兼任	講師	田中 瑛 ＜令和6年9月＞ 博士(社会情報学)
		情報スキル基礎 国際メディア論
兼任	講師	Valise, Kinsella ＜令和6年4月＞ 修士(応用言語学)
		Effective Speaking Active Reading Active Listening Global Studies g
兼任	講師	柳田 亮吾 ＜令和6年4月＞ 博士(言語文化学)
		実践教養講座 d ※
兼任	助教	小川 ゆか ＜令和6年4月＞ 博士(被服環境学)
		生活環境の科学 ※
兼任	講師	相川(新田) 愛美 ＜令和6年4月＞ Ph.D. (History) (インド)
		地域研究 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	合原 勝之 ＜令和6年4月＞ 芸術学士
		生活とデザイン
兼任	講師	青木 淳子 ＜令和6年9月＞ 博士(学際情報学)
		衣文化論
兼任	講師	秋山(小宮) 千恵 ＜令和6年4月＞ 修士(史学)
		西洋史
兼任	講師	阿部 貴美子 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(英国)
		女性の健康
兼任	講師	阿部 哲理 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		心の健康
兼任	講師	荒尾(岩熊) 美代 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		食文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	合原 勝之 ＜令和6年4月＞ 芸術学士
		生活とデザイン
兼任	講師	青木 淳子 ＜令和6年9月＞ 博士(学際情報学)
		衣文化論
兼任	講師	赤間 啓之 ＜令和6年4月＞ doctorat(仏国)
		情報リテラシー基礎
兼任	講師	秋山(小宮) 千恵 ＜令和6年4月＞ 修士(史学)
		西洋史
兼任	講師	東 徹 ＜令和6年4月＞ 商学修士※
		地域経営学入門 a 地域経営学入門 b
兼任	講師	阿部 貴美子 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(英国)
		女性の健康
兼任	講師	阿部 哲理 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		心の健康
兼任	講師	荒尾(岩熊) 美代 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		食文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	有賀(岸) 暁子 ＜令和6年4月＞ 学士(国文学)
		健康運動実習 a
兼任	講師	飯泉(徳永) 恵美子 ＜令和6年4月＞ 法学士
		Integrated English a 情報リテラシー基礎 Global Studies i Global Studies j Effective Communication a ※ Effective Communication b ※
兼任	講師	飯野 智子 ＜令和6年4月＞ 修士(社会学)
		ジェンダー論入門 女性の歴史 日本のポップカルチャー
兼任	講師	飯盛 元章 ＜令和6年9月＞ 博士(哲学)
		現代の思想
兼任	講師	池田 徳正 ＜令和6年9月＞ 修士(学術情報学)
		情報リテラシー応用 c
兼任	講師	石塚 雅貴 ＜令和6年9月＞ 修士(人間科学)
		情報リテラシー応用 b
兼任	講師	泉 敏郎 ＜令和6年4月＞ 修士(体育科学)
		基礎スポーツ実習 a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	有賀(岸) 暁子 ＜令和6年4月＞ 学士(文学)
		健康運動実習 a
兼任	講師	飯泉(徳永) 恵美子 ＜令和6年4月＞ 法学士
		Integrated English a Global Studies i Global Studies j Effective Communication a ※ Effective Communication b ※
兼任	講師	飯野 智子 ＜令和6年4月＞ 修士(社会学)
		ジェンダー論入門 女性の歴史 日本のポップカルチャー
兼任	講師	飯盛 元章 ＜令和6年9月＞ 博士(哲学)
		現代の思想
兼任	講師	池田 徳正 ＜令和6年9月＞ 修士(学術情報学)
		情報リテラシー応用 c
兼任	講師	Istek Cihangir ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		社会とデザイン
兼任	講師	泉 敏郎 ＜令和6年4月＞ 修士(体育科学)
		基礎スポーツ実習 a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	市川(花田) 薫 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生活環境の科学
兼任	講師	市毛 洋子 ＜令和6年4月＞ Master's degree in TESOL(米国)
		Active Reading Active Listening CEFR b1
兼任	講師	猪瀬 武則 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		日本の経済
兼任	講師	今井 康晴 ＜令和6年4月＞ 修士※(教育学)
		教育学
兼任	講師	石上 美紀 ＜令和6年4月＞ 家政学修士
		ファッションの世界
兼任	講師	上西 朋子 ＜令和6年9月＞ 修士(生活科学)
		情報スキル基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	磯野 正典 ＜令和6年9月＞ 博士(学術)
		実践キャリアプランニング
兼任	講師	市川(花田) 薫 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生活環境の科学
兼任	講師	市毛 洋子 ＜令和6年4月＞ Master's degree in TESOL(米国)
		Active Reading Active Listening CEFR B1
兼任	講師	伊藤 綾香 ＜令和6年4月＞ 博士(政策・メディア)
		情報リテラシー応用 a
兼任	講師	猪瀬 武則 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		日本の経済
兼任	講師	今井 康晴 ＜令和6年4月＞ 修士※(教育学)
		教育学
兼任	講師	石上 美紀 ＜令和6年4月＞ 家政学修士
		ファッションの世界
兼任	講師	上西 朋子 ＜令和6年4月＞ 修士(生活科学)
		情報スキル基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	氏川 雅典 ＜令和6年4月＞ 修士※(社会学)
		社会学入門
兼任	講師	越後 敬子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		日本の古典文学
兼任	講師	江藤 双恵 ＜令和6年4月＞ 修士※(国際学)
		国際社会とジェンダー 地域研究 a
兼任	講師	大木 博巳 ＜令和6年9月＞ 経済学士
		国際経済の基礎
兼任	講師	大倉 恭輔 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		サブカルチャー論
兼任	講師	大澤 隆文 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		地球と環境の科学
兼任	講師	大塚 諒 ＜令和6年9月＞ 博士(哲学)
		社会思想入門
兼任	講師	岡田 斉 ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		心理学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	氏川 雅典 ＜令和6年4月＞ 修士※(社会学)
		社会学入門
兼任	講師	越後 敬子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		日本の古典文学
兼任	講師	江藤 双恵 ＜令和6年4月＞ 修士※(国際学)
		国際社会とジェンダー 地域研究 a
兼任	講師	大倉 恭輔 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		サブカルチャー論
兼任	講師	大澤 隆文 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		地球と環境の科学
兼任	講師	大塚 諒 ＜令和6年9月＞ 博士(哲学)
		社会思想入門
兼任	講師	岡田 斉 ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		心理学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡部 英男 <令和6年4月> 文学修士※
		倫理学入門 生命と環境の倫理
兼任	講師	小川 泉 <令和6年9月> 修士(教育学)
		情報スキル基礎
兼任	講師	小栗 宏太 <令和6年9月> Master of Arts in Political Science (米国)
		文化人類学入門
兼任	講師	Caswell, Ian Michael <令和6年9月> Master of Arts (英国)
		Effective Writing
兼任	講師	蟹江 教子 <令和7年9月> 博士(社会科学)
		女性とキャリア形成
兼任	講師	河田 美保 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康運動実習 a 基礎スポーツ実習 c ヘルスプロモーション実践実習 a ヘルスプロモーション実践実習 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡部 英男 <令和6年4月> 文学修士※
		倫理学入門 生命と環境の倫理
兼任	講師	小栗 宏太 <令和6年9月> Master of Arts in Political Science (米国)
		文化人類学入門
兼任	講師	織田 弥生 <令和6年4月> 博士(学術)
		情報リテラシー基礎
兼任	講師	笠原 邦子 <令和6年4月> 短期大学卒業
		情報スキル基礎
兼任	講師	Caswell, Ian Michael <令和6年9月> Master of Arts (英国)
		Effective Writing
兼任	講師	蟹江 教子 <令和7年9月> 博士(社会科学)
		女性とキャリア形成
兼任	講師	河田 美保 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康運動実習 a 基礎スポーツ実習 c ヘルスプロモーション実践実習 a ヘルスプロモーション実践実習 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木下 頌子 <令和6年4月> 修士(文学)
		現代の思想
兼任	講師	木水(吉澤)千里 <令和6年4月> doctorat(フランス)
		映像文化論
兼任	講師	楠見 清 <令和6年9月> 哲学士
		サブカルチャー論
兼任	講師	久保寺 紀江 <令和6年4月> 博士(美術史学)
		美術の世界
兼任	講師	熊谷 滋三 <令和6年4月> 文学修士※
		東洋史
兼任	講師	栗田 智子 <令和6年4月> M.A. in TESOL(米国)
		Integrated English a 実践プロジェクトc Effective Communication a※ Effective Communication b※
兼任	講師	栗原 栄美 <令和8年9月> 学士(文芸学)
		ビジネスのスキルとマナー
兼任	講師	高 恩淑 <令和6年4月> 博士(言語文化)
		コリア語 1 a コリア語 1 b コリア語 2 a コリア語 2 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木下 頌子 <令和6年4月> 修士(文学)
		現代の思想
兼任	講師	木水(吉澤)千里 <令和6年4月> doctorat(フランス)
		映像文化論
兼任	講師	楠見 清 <令和6年9月> 哲学士
		サブカルチャー論
兼任	講師	久保寺 紀江 <令和6年4月> 博士(美術史学)
		美術の世界
兼任	講師	熊谷 滋三 <令和6年4月> 文学修士※
		東洋史
兼任	講師	熊田 勇真 <令和6年4月> 学士(芸術)
		情報リテラシー応用 b
兼任	講師	栗田 智子 <令和6年4月> M.A. in TESOL(米国)
		Integrated English a 実践プロジェクトc Effective Communication a※ Effective Communication b※
兼任	講師	栗原 栄美 <令和6年9月> 学士(文芸学)
		実践キャリアプランニング ビジネスのスキルとマナー
兼任	講師	高 恩淑 <令和6年4月> 博士(言語文化)
		コリア語 1 a コリア語 1 b コリア語 2 a コリア語 2 b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河野 康成 <令和6年4月> 社会学修士※ 情報リテラシー応用b 情報リテラシー応用c 統計的思考
兼任	講師	小島 将裕 <令和6年9月> 博士(統計科学) 情報スキル基礎
兼任	講師	小須田 健 <令和6年4月> 博士(哲学) 哲学入門
兼任	講師	小林 真知子 <令和6年4月> 学術博士 西洋の文学
兼任	講師	小林 幸子 <令和6年4月> 博士(芸術学) 音楽の世界
兼任	講師	米田 英嗣 <令和6年9月> 博士(教育学) 心理学入門
兼任	講師	惟村 直公 <令和6年9月> 農学博士 情報スキル基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上妻 歩夢 <令和6年4月> 修士(体育科学) 基礎スポーツ実習a
兼任	講師	河野 康成 <令和6年4月> 社会学修士※ 情報リテラシー応用c 統計的思考
兼任	講師	小須田 健 <令和6年4月> 博士(哲学) 哲学入門
兼任	講師	小林 真知子 <令和6年4月> 学術博士 西洋の文学
兼任	講師	小林 幸子 <令和6年4月> 博士(芸術学) 音楽の世界
兼任	講師	米田 英嗣 <令和6年9月> 博士(教育学) 心理学入門
兼任	講師	惟村 直公 <令和6年9月> 農学博士 情報スキル基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	蔡 暎軍 ＜令和6年4月＞ 修士※(文学)
		中国語 1 a 中国語 1 b 中国語 2 a 中国語 2 b
兼任	講師	齋藤 孝 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		日本国憲法 法学入門 日本の政治
兼任	講師	齋藤 宏文 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と人間
兼任	講師	齋藤 宜之 ＜令和6年9月＞ 博士(哲学)
		社会思想入門
兼任	講師	笹野 悦子 ＜令和6年4月＞ 修士※(社会学)
		ジェンダー論入門
兼任	講師	佐藤 恵美 ＜令和6年4月＞ 博士(心理学)
		心の健康
兼任	講師	篠田 真理子 ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		バイオの世界
兼任	講師	清水 弥生 ＜令和6年4月＞ 修士(法律学)
		日常生活と法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	蔡 暎軍 ＜令和6年4月＞ 修士※(文学)
		中国語 1 a 中国語 1 b 中国語 2 a 中国語 2 b
兼任	講師	齋藤 孝 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		日本国憲法 法学入門 日本の政治
兼任	講師	齋藤 宏文 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と人間
兼任	講師	齋藤 宜之 ＜令和6年9月＞ 博士(哲学)
		社会思想入門
兼任	講師	笹野 悦子 ＜令和6年4月＞ 修士※(社会学)
		ジェンダー論入門
兼任	講師	佐藤 恵美 ＜令和6年4月＞ 博士(心理学)
		心の健康
兼任	講師	篠田 真理子 ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		バイオの世界
兼任	講師	清水 弥生 ＜令和6年4月＞ 修士(法律学)
		日常生活と法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	霜田 敦子 <令和6年4月> 博士(文学)
		Integrated English a Effective Communication a※ Effective Communication b※
兼任	講師	白川(谷村) 理恵 <令和6年4月> 博士(文学)
		Global Studies g フランス語 1 a フランス語 1 b
兼任	講師	調 文明 <令和6年4月> 修士※(文学)
		映像文化論
兼任	講師	菅沼 崇 <令和6年4月> 修士※(教育学)
		心理学入門 人間関係の心理学
兼任	講師	菅原 淳史 <令和6年4月> 修士(人間科学)
		情報スキル基礎 情報リテラシー応用 b 情報リテラシー応用 c
兼任	講師	杉山 春 <令和6年4月> 文学士
		実践教養講座 f
兼任	講師	鈴木 清美 <令和6年4月> 修士(体育)
		身体運動の科学 a 身体運動の科学 b 健康運動実習 a 健康運動実習 b 基礎スポーツ実習 a
兼任	講師	鈴木 淳弘 <令和6年9月> 修士(国際学)
		情報スキル基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	霜田 敦子 <令和6年4月> 博士(文学)
		Integrated English a Effective Communication a※ Effective Communication b※
兼任	講師	白川(谷村) 理恵 <令和6年4月> 博士(文学)
		Global Studies h フランス語 1 a フランス語 1 b
兼任	講師	調 文明 <令和6年4月> 修士※(文学)
		映像文化論
兼任	講師	菅沼 崇 <令和6年4月> 修士※(教育学)
		心理学入門 人間関係の心理学
兼任	講師	菅原 淳史 <令和6年4月> 修士(人間科学)
		情報スキル基礎 情報リテラシー応用 b 情報リテラシー応用 c
兼任	講師	杉山 春 <令和6年4月> 文学士
		実践教養講座 f
兼任	講師	鈴木 清美 <令和6年4月> 修士(体育)
		身体運動の科学 a 身体運動の科学 b 健康運動実習 a 健康運動実習 b
兼任	講師	鈴木 淳弘 <令和6年4月> 修士(国際学)
		情報スキル基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 卓 ＜令和6年4月＞ 博士(応用言語学)
		Effective Writing Effective Speaking Active Listening Global Studies c
兼任	講師	須山 智裕 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		文学とジェンダー
兼任	講師	瀬端 睦 ＜令和6年9月＞ 修士※(異文化コミュニケーション学)
		Basic Listening Basic Reading Basic Writing
兼任	講師	園部 圭太 ＜令和6年9月＞ 修士(理学)※
		情報リテラシー応用 b
兼任	講師	Darling, Martin William ＜令和7年4月＞ M. A. TESOL (米国)
		Effective Communication b※ Effective Communication c
兼任	講師	竹林 和彦 ＜令和6年4月＞ 修士※(教育学)
		地理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 卓 ＜令和6年4月＞ 博士(応用言語学)
		Effective Writing Effective Speaking Active Listening Global Studies c
兼任	講師	鈴木 裕信 ＜令和6年4月＞ 専門学校卒
		情報コミュニケーション論
兼任	講師	須山 智裕 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		文学とジェンダー
兼任	講師	瀬端 睦 ＜令和6年9月＞ 修士※(異文化コミュニケーション学)
		Basic Listening Basic Reading Basic Writing
兼任	講師	Darling, Martin William ＜令和7年4月＞ M. A. TESOL (米国)
		Effective Communication b※ Effective Communication c
兼任	講師	高谷 直樹 ＜令和6年4月＞ 学士(工学)
		情報スキル基礎
兼任	講師	竹林 和彦 ＜令和6年4月＞ 修士※(教育学)
		地理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中(藤原)亜美 <令和6年4月> 修士(文学)
		ドイツ語1a ドイツ語1b ドイツ語2a ドイツ語2b
兼任	講師	田丸 由美子 <令和6年9月> 修士※(文学)
		Basic Writing
兼任	講師	寺田 倫子 <平成6年4月> 学士(文学)
		情報リテラシー基礎
兼任	講師	謝 淑愛 <令和6年4月> Mastor of Education(Business Management)(マレーシア)
		Global Studies e Global Studies f
兼任	講師	張 名揚 <令和6年9月> 博士(文学)
		東洋思想入門
兼任	講師	土屋 陽介 <令和6年4月> 博士(工学)
		情報リテラシー応用b 情報リテラシー応用c
兼任	講師	寺本(山内)美奈子 <令和6年4月> 修士(造形)
		生活とデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中(藤原)亜美 <令和6年4月> 修士(文学)
		ドイツ語1a ドイツ語1b ドイツ語2a ドイツ語2b
兼任	講師	田丸 由美子 <令和6年9月> 修士※(文学)
		Basic Writing
兼任	講師	謝 淑愛 <令和6年4月> Mastor of Education(Business Management)(マレーシア)
		Global Studies e Global Studies f
兼任	講師	張 名揚 <令和6年9月> 博士(文学)
		東洋思想入門
兼任	講師	辻本 衣佐 <令和6年9月> 修士※(法学)
		法学入門
兼任	講師	土屋 陽介 <令和6年9月> 博士(工学)
		情報リテラシー応用b 情報リテラシー応用c
兼任	講師	寺本(山内)美奈子 <令和6年4月> 修士(造形)
		生活とデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	徳地 昌代 ＜令和6年4月＞ 学士(体育学)
		基礎スポーツ実習 d
兼任	講師	豊島 陽子 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		生命の科学
兼任	講師	内藤 芳宏 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		観光地理学
兼任	講師	永井 とも子 ＜令和7年4月＞ 短期大学卒業
		実践教養講座 a
兼任	講師	中川 理恵子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		児童文学入門
兼任	講師	中野 遙 ＜令和6年9月＞ 博士(文学)
		言語学入門
兼任	講師	中野 裕美子 ＜令和8年9月＞ 修士(社会科学)
		ライフデザイン
兼任	講師	中村 太一 ＜令和6年4月＞ PhD Linguistics (英国)
		Effective Writing

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	徳地 昌代 ＜令和6年4月＞ 学士(体育学)
		基礎スポーツ実習 d
兼任	講師	豊島 陽子 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		生命の科学
兼任	講師	内藤 芳宏 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		観光地理学
兼任	講師	永井 とも子 ＜令和7年4月＞ 短期大学卒業
		実践教養講座 a
兼任	講師	中川 理恵子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		児童文学入門
兼任	講師	中野 遙 ＜令和6年9月＞ 博士(文学)
		言語学入門
兼任	講師	中野 裕美子 ＜令和8年9月＞ 修士(社会科学)
		ライフデザイン
兼任	講師	中村 太一 ＜令和6年4月＞ PhD Linguistics (英国)
		Effective Writing

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	南部(赤石)和香 ＜令和6年9月＞ 博士(商学)
		国際経済の基礎
兼任	講師	西脇 智子 ＜令和6年4月＞ 社会福祉学修士
		オープン講座 b オープン講座 c クォーターオープン講座 a クォーターオープン講座 b
兼任	講師	奴田原 諭 ＜令和6年4月＞ 修士※(文学)
		日本の近現代文学
兼任	講師	野瀬 元子 ＜令和7年4月＞ 博士(国際地域学)
		日本文化事情 c 東京文化論
兼任	講師	朴 校熙 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		コリア語 1 a コリア語 1 b コリア語 2 a コリア語 2 b 海外文化事情 a
兼任	講師	畑農 鋭矢 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		日本の経済 数学的思考※
兼任	講師	林 忠正 ＜令和7年4月＞ 修士(法学)
		実践企業分析論 実践企業分析論演習
兼任	講師	早田(河方)朋代 ＜令和6年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		健康運動実習 b 基礎スポーツ実習 a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	南部(赤石)和香 ＜令和6年9月＞ 博士(商学)
		国際経済の基礎
兼任	講師	西脇 智子 ＜令和6年4月＞ 社会福祉学修士
		オープン講座 b オープン講座 c クォーターオープン講座 a クォーターオープン講座 b
兼任	講師	奴田原 諭 ＜令和6年4月＞ 修士※(文学)
		日本の近現代文学
兼任	講師	野瀬 元子 ＜令和7年4月＞ 博士(国際地域学)
		日本文化事情 c 東京文化論
兼任	講師	朴 校熙 ＜令和7年4月＞ 博士(教育学)
		海外文化事情 a
兼任	講師	畑農 鋭矢 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		日本の経済 数学的思考※
兼任	講師	林 忠正 ＜令和7年4月＞ 修士(法学)
		実践企業分析論 実践企業分析論演習
兼任	講師	早田(河方)朋代 ＜令和6年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		健康運動実習 b 基礎スポーツ実習 a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	兵頭 昌 ＜令和6年9月＞ 博士(理学)
		情報リテラシー応用 b
兼任	講師	平塚 理恵 ＜令和6年9月＞ 博士(理学)
		生命の科学
兼任	講師	平松 恵一郎 ＜令和6年4月＞ 修士(経営管理学)
		メディア論
兼任	講師	福田 幸夫 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		社会保障論
兼任	講師	藤井 章博 ＜令和6年9月＞ 博士(情報工学)
		情報リテラシー応用 d
兼任	講師	藤井 陽子 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		フランス語 1 a フランス語 1 b フランス語 2 a フランス語 2 b
兼任	講師	Bucci Concettina ＜令和6年4月＞ Master Itals in Didactics of Italian as a Foreign Language (イタリア)
		イタリア語1 イタリア語2 a イタリア語2 b 海外文化事情 d

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平塚 理恵 ＜令和6年9月＞ 博士(理学)
		生命の科学
兼任	講師	平松 恵一郎 ＜令和6年4月＞ 修士(経営管理学)
		メディア論
兼任	講師	福田 幸夫 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		社会保障論
兼任	講師	藤井 章博 ＜令和6年4月＞ 博士(情報工学)
		情報リテラシー応用 d
兼任	講師	藤井 孝宗 ＜令和6年9月＞ 修士※(経済学)
		国際経済の基礎
兼任	講師	藤井 陽子 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		フランス語 1 a フランス語 1 b フランス語 2 a フランス語 2 b
兼任	講師	Bucci Concettina ＜令和6年4月＞ Master Itals in Didactics of Italian as a Foreign Language (イタリア)
		イタリア語1 イタリア語2 a イタリア語2 b 海外文化事情 d

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古川 諒太 <令和6年4月> 修士(文学)
		日本の伝統文化
兼任	講師	Fraser Gould <令和8年4月> MA in TEFL/TESL (英国)
		Effective Communication c
兼任	講師	堀 智博 <令和6年4月> 博士(史学)
		日本史
兼任	講師	堀内 隆二 <令和6年4月> 修士(政策・メディア)
		情報リテラシー応用 a
兼任	講師	増田 貴之 <令和6年4月> 修士(学術)
		防災の科学
兼任	講師	町田 大輔 <令和6年9月> 博士(保健学)
		農業と食料
兼任	講師	松尾 夏海 <令和7年4月> 修士(文学)
		Effective Communication b※
兼任	講師	松下 慶太 <令和6年4月> 博士(文学)
		実践プロジェクトb 社会とデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古川 諒太 <令和6年4月> 修士(文学)
		日本の伝統文化
兼任	講師	Fraser Gould <令和8年4月> MA in TEFL/TESL (英国)
		Effective Communication c
兼任	講師	堀 智博 <令和6年4月> 博士(史学)
		日本史
兼任	講師	増田 貴之 <令和6年4月> 修士(学術)
		防災の科学
兼任	講師	町田 大輔 <令和6年9月> 博士(保健学)
		農業と食料
兼任	講師	松尾 夏海 <令和7年4月> 修士(文学)
		Effective Communication b※
兼任	講師	松下 慶太 <令和7年4月> 博士(文学)
		実践プロジェクトb

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松並 知子 ＜令和6年4月＞ 博士(言語文化学)
		ジェンダーと心理
兼任	講師	Milen Anguelov Martchev ＜令和8年4月＞ 博士(社会言語学)
		Effective Communication c
兼任	講師	Meehan, Kevin Patrick ＜令和6年9月＞ M. S. Ed. in TESOL (米国)
		Global Studies g
兼任	講師	光武 智子 ＜令和6年4月＞ 学士(芸術学)
		情報リテラシー応用 a
兼任	講師	南 英樹 ＜令和6年4月＞ 体育学修士※
		スポーツ文化論 健康運動実習 a
兼任	講師	嶺崎 寛子 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		地域研究 a
兼任	講師	宮平 健介 ＜令和6年4月＞ 修士(体育科学)
		基礎スポーツ実習 a 基礎スポーツ実習 b
兼任	講師	三輪 英子 ＜令和6年9月＞ 修士(キャリアデザイン学)
		実践キャリアプランニング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松並 知子 ＜令和6年4月＞ 博士(言語文化学)
		ジェンダーと心理
兼任	講師	Milen Anguelov Martchev ＜令和8年4月＞ 博士(社会言語学)
		Effective Communication c
兼任	講師	光武 智子 ＜令和6年4月＞ 学士(芸術学)
		情報リテラシー応用 a
兼任	講師	南 英樹 ＜令和6年4月＞ 体育学修士※
		スポーツ文化論 健康運動実習 a
兼任	講師	嶺崎 寛子 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		地域研究 a
兼任	講師	宮平 健介 ＜令和6年4月＞ 修士(体育科学)
		基礎スポーツ実習 a 基礎スポーツ実習 b
兼任	講師	三輪 英子 ＜令和6年9月＞ 修士(キャリアデザイン学)
		実践キャリアプランニング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	靱山 メリダ <令和6年4月> Licenciado en Educacion Especialidad: Ciencias (ペ ルー)
		スペイン語 1 a スペイン語 1 b スペイン語 2 a スペイン語 2 b
兼任	講師	森 弘之 <令和6年4月> 理学博士
		宇宙の科学
兼任	講師	森山(安藤) あゆみ <令和6年9月> 修士※(政治学)
		国際政治の基礎
兼任	講師	八木 一行 <令和6年9月> 博士(農学)
		地球と環境の科学
兼任	講師	八木 浩雄 <令和6年4月> 修士※(人文学)
		情報スキル基礎 教育学
兼任	講師	柳田 京子 <令和6年9月> 学士(社会学)
		情報スキル基礎
兼任	講師	山岡 均 <令和6年4月> 博士(理学)
		宇宙の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	靱山 メリダ <令和6年4月> Licenciado en Educacion Especialidad: Ciencias (ペ ルー)
		スペイン語 1 a スペイン語 1 b スペイン語 2 a スペイン語 2 b
兼任	講師	森 弘治 <令和6年9月> Master of Fine Arts (米国) M.S. Vis. S. (米国)
		情報リテラシー応用 b
兼任	講師	森 弘之 <令和6年4月> 理学博士
		宇宙の科学
兼任	講師	森山(安藤) あゆみ <令和6年9月> 修士※(政治学)
		国際政治の基礎
兼任	講師	八木 一行 <令和6年9月> 博士(農学)
		地球と環境の科学
兼任	講師	八木 浩雄 <令和6年4月> 修士※(人文学)
		情報スキル基礎 教育学
兼任	講師	
兼任	講師	山岡 均 <令和6年4月> 博士(理学)
		宇宙の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山谷 真名 <令和7年4月> 修士(家庭経営学)
		女性とキャリア形成
兼任	講師	横田 順子 <令和6年4月> 修士※(文学)
		児童文学入門 世界のファンタジー
兼任	講師	余村 朋樹 <令和6年9月> 修士(人間科学)
		人間関係の心理学
兼任	講師	Lai Hoa <令和6年4月> Master of Arts in TESOL (英国)
		Integrated English b Effective Communication a※ Effective Communication b※
兼任	講師	劉 素英 <令和6年4月> 文学修士
		中国語 1 a 中国語 1 b 中国語 2 a 中国語 2 b
兼任	講師	Lavey, Robert Christopher <令和6年4月> Master of Arts in Education (米国)
		Integrated English b Effective Communication a※ Effective Communication b※ Effective Communication c Advanced Listening Practical English a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山谷 真名 <令和7年4月> 修士(家庭経営学)
		女性とキャリア形成
兼任	講師	齋 三善 <令和6年4月> 博士(文学)
		コリア語 1 a コリア語 1 b コリア語 2 a コリア語 2 b
兼任	講師	横田 順子 <令和6年4月> 修士※(文学)
		児童文学入門 世界のファンタジー
兼任	講師	吉原 学 <令和6年9月> M. A. TESOL (米国)
		Global Studies h
兼任	講師	余村 朋樹 <令和6年9月> 修士(人間科学)
		人間関係の心理学
兼任	講師	Lai Hoa <令和6年4月> Master of Arts in TESOL (英国)
		Integrated English b Effective Communication a※ Effective Communication b※
兼任	講師	劉 素英 <令和6年4月> 文学修士
		中国語 1 a 中国語 1 b 中国語 2 a 中国語 2 b
兼任	講師	Lavey, Robert Christopher <令和6年4月> Master of Arts in Education (米国)
		Integrated English b Effective Communication a※ Effective Communication b※ Effective Communication c Advanced Listening Practical English a

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡邊 弘己 <令和6年9月> 博士(理学)
		情報リテラシー応用 b
兼任	講師	和波 里翠 <令和6年9月> 学士(芸術学)
		情報リテラシー応用 e
兼任	講師	薬科 智恵 <令和6年4月> 博士(学術)
		世界の宗教

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	若山 昇 <令和6年4月> 修士※(学術)
		情報スキル基礎 情報リテラシー応用 e
兼任	講師	渡邊 均 <令和6年9月> 博士(工学)
		データサイエンス入門
兼任	講師	和波 里翠 <令和6年9月> 学士(芸術学)
		情報リテラシー応用 e
兼任	講師	薬科 智恵 <令和6年4月> 博士(学術)
		世界の宗教

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科の授業科目名を記入するとともに、下段

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「萩野敏」専任教員就任辞退。後任未定であるが、令和7年4月から専任教員採用予定で公募中。
 - ・「大澤朋子」昇格により、「兼任・講師」から「兼任・准教授」に変更。
 - ・「下山肇」就任年月を「令和6年9月」から「令和7年4月」に変更。
 - ・「杉山靖正」就任年月を「令和6年9月」から「令和6年4月」に変更。
 - ・「高橋桂子」就任年月を「令和6年4月」から「令和6年9月」に変更。
 - ・「中村彰男」就任年月を「令和6年9月」から「令和6年4月」に変更。
 - ・「山崎壮」就任年月を「令和6年9月」から「令和6年4月」に変更。
 - ・「加藤木秀章」就任年月を「令和6年9月」から「令和6年4月」に変更。
 - ・「橋詰秋子」就任年月を「令和6年9月」から「令和6年4月」に変更。
 - ・「上西朋子」就任年月を「令和6年9月」から「令和6年4月」に変更。
 - ・「栗原栄美」就任年月を「令和8年9月」から「令和6年9月」に変更。
 - ・「鈴木淳弘」就任年月を「令和6年9月」から「令和6年4月」に変更。
 - ・「土屋陽介」就任年月を「令和6年4月」から「令和6年9月」に変更。
 - ・「朴校熙」就任年月を「令和6年4月」から「令和7年4月」に変更。
 - ・「藤井章博」就任年月を「令和6年9月」から「令和6年4月」に変更。
 - ・「松下慶太」就任年月を「令和6年4月」から「令和7年4月」に変更。
 - ・「有賀暁子」保有学位誤記により、「学士（国文学）」から「学士（文学）」に変更。
 - ・「市毛洋子」担当授業科目名誤記により、「CEFR b1」から「CEFR B1」に変更。
- 【共通教育科目】
- ・「実践キャリアプランニング」磯野正典兼任講師、栗原栄美兼任講師を担当に追加し、鹿島千穂兼任講師、三輪英子兼任講師を担当から削除。
 - ・「テータイエンズ入門」渡邊均兼任講師を担当に追加し、齋藤洋兼准教授を担当から削除。
 - ・「情報リテラシー基礎」赤間啓之兼任講師、織田弥生兼任講師を担当に追加し、飯泉恵美子兼任講師、寺田倫子兼任講師を担当から削除。
 - ・「Global Studies h」白川理恵兼任講師、吉原学兼任講師を担当に追加し、Valise, Kinsella兼任講師を担当から削除。
 - ・「Global Studies g」Valise, Kinsella兼任講師を担当に追加し、白川理恵兼任講師、Meehan, Kevin Patrick兼任講師を担当から削除。
 - ・「コリア語1 a」、「コリア語1 b」、「コリア語2 a」、「コリア語2 b」俞三善兼任講師を担当に追加し、朴校熙兼任講師を担当から削除。
 - ・「海外語学研修 a」、「海外語学研修 b」、「海外語学研修 c」、「海外語学研修 d」、「海外語学研修 e」、「海外語学研修 f」、「海外語学研修 g」、「海外語学研修 h」、「海外短期インターンシップ」、「海外長期インターンシップ」中山誠一兼准教授を担当に追加し、Bulach, Juergen兼任講師を担当から削除。
 - ・「Study Abroad a」、「Study Abroad b」、「Study Abroad c」、「Study Abroad d」、「グローバルインターンシップ a」、「グローバルインターンシップ b」中山誠一兼准教授を担当に追加。
 - ・「情報スキル基礎」笠原邦子兼任講師、高谷直樹兼任講師、若山昇兼任講師を担当に追加し、齋藤洋兼准教授、小川泉兼任講師、小島将裕兼任講師、柳田京子兼任講師を担当から削除。
 - ・「情報リテラシー応用 a」伊藤綾香兼任講師を担当に追加し、堀内隆二兼任講師を担当から削除。
 - ・「情報リテラシー応用 b」熊田勇真兼任講師、森弘治兼任講師を担当に追加し、石塚雅貴兼任講師、河野康成兼任講師、園部圭太兼任講師、兵頭昌兼任講師、渡邊弘己兼任講師を担当から削除。
 - ・「情報リテラシー応用 d」佐藤健兼准教授を担当から削除。
 - ・「情報リテラシー応用 e」若山昇兼任講師を担当に追加。
 - ・「実践プロジェクト c」一色ヒロタカ兼准教授を担当に追加。
 - ・「女性教育とジェンダー」広井多鶴子兼准教授を担当から削除。
 - ・「法学入門」辻本衣佐兼任講師を担当に追加し、金津謙兼准教授を担当から削除。
 - ・「国際経済の基礎」藤井孝宗兼任講師を担当に追加し、大木博己兼任講師を担当から削除。
 - ・「社会とデザイン」Istek Cihangir兼任講師を担当に追加し、松下慶太兼任講師を担当から削除。
 - ・「くらしの化学」杉山靖正兼准教授、中村彰男兼准教授を担当に追加。
 - ・「生活環境の科学」オムニバス方式授業に変更し、安齋利典兼准教授、大川知子兼准教授、佐藤健兼准教授、塩原みゆき兼准教授、橋弘志兼准教授、内藤将俊兼准教授、植実兼准教授、一色ヒロタカ兼准教授、加藤木秀章兼准教授、滝澤愛兼准教授、小川ゆか兼准教授を担当に追加し、山崎和彦兼准教授を担当から削除。
 - ・「基礎スポーツ実習 a」上妻歩夢兼任講師を担当に追加し、鈴木清美兼任講師を担当から削除。
 - ・「実践教養講座 b」織田涼子兼准教授を担当に追加し、武笠朗兼准教授を担当から削除。
 - ・「実践教養講座 c」松島照彦兼准教授を担当から削除。
 - ・「実践教養講座 d」オムニバス方式授業に変更し、武内一良教授、難波雅紀兼准教授、広井多鶴子兼准教授、柳田亮吾兼准教授を担当に追加。
 - ・「実践教養講座 i」松島照彦兼准教授を担当から削除。
 - ・「実践教養講座 h」Bruna, Lukas兼准教授、神山静香兼准教授を担当に追加し、下山肇兼准教授、広井多鶴子兼准教授を担当から削除。
- 【専門教育科目】
- ・「基礎演習」大塚みさ兼任講師を担当に追加。
 - ・「地域経営学入門 a」東徹兼任講師を担当に追加し、九里徳泰兼任講師を削除。
 - ・「地域経営学入門 b」東徹兼任講師を担当に追加し、九里徳泰兼任講師を削除。
- 【専任教員の就任辞退による1年次配当授業科目の担当者変更】
- ・共通教育科目「実践入門セミナー」三田薫教授を担当に追加。
 - ・専門教育科目「基礎演習」三田薫教授を担当に追加。
 - ・専門教育科目「情報コミュニケーション論」鈴木裕信兼任講師を担当に追加。
 - ・専門教育科目「国際メディア論」田中瑛兼准教授を担当に追加。
 - ・専門教育科目「英語発音論」藤原正道兼任講師を担当に追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	3	2	0	11	0	3	3	0	0	6	2
(4)	(3)	(0)	(0)	(7)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
5	3	2	0	10	2	6	3	2	0	11	2
[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、限可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{11} = \boxed{90.9} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{2}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	萩野 敏	R5.6	必修	実践入門セミナー	①	R5.6体調不良のため就任辞退（6）						
				必修	基礎演習	①							
				必修	専門演習 a	③							
				必修	専門演習 b	③							
				必修	卒業研究	③							
				選択	情報コミュニケーション論	②							
				選択	国際メディア論	②							
				選択	英語発音論	②							
				選択	マスメディア演習	③							
				選択	ソーシャルメディア演習	③							
				選択	国際文化演習 b	③							
				選択	日本のメディア文化	③							
				選択	コンテンツ産業論	③							
				選択	社会統計学入門	③							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	5	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	3	科目
		選択	9	科目	選択	1	科目	選択	2	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	3	科目	計	2	科目	計	9	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	5	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	3	科目
		選択	9	科目	選択	1	科目	選択	2	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	3	科目	計	2	科目	計	9	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - \textcircled{3} \text{合計(D)} + (F)}{(2) - \textcircled{2} \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{11} = 9.09 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>学部開設前の就任辞退であったため、後任教員の採用募集を実施したが適任者が見つからず採用に至っていない。現在公募中である。本年度開設前に次の対応を講じたこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次開設の担当科目は、他の専任教員および兼担教員が担当することとした。次年度以降は後任教員を採用し担当することとする。 ・ 2年次以降開設の担当科目は、後任教員を採用し担当することとする。 <p>以上から学生の履修等に影響はないため周知は行っていない。(6)</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和6年)	生活科学部生活環境学科の収容定員超過の是正に努めること。 【届出】 遵守事項	生活科学部生活環境学科の収容定員充足率は、令和5年度の学生数388名と収容定員324名の1.19から、令和6年度は学生数353名と収容定員324名の1.08に是正した。 (6)	履行中 今後も定員の適正管理に留意して入学定員の確保に引き続き努めていく。(6)
届 出 時 (令和6年)	人間社会学部人間社会学科の収容定員超過の是正に努めること。 【届出】 遵守事項	人間社会学部人間社会学科の収容定員充足率は、令和5年度の学生数471名と収容定員400名の1.17から、令和6年度は学生数474名と収容定員400名の1.18であった。入学者の適正管理に努めたが入学者の歩留まりが予想に反する結果となった。(6)	履行中 今後も定員の適正管理に留意して入学者を決定し、定員超過の是正、改善に努める。(6)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 国際学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>実践女子大学教育研究センター 規程 第2条2（目的）、第3条(11)(12)（業務）、第14条（FDの実施報告及び公表）</p> <p>実践女子大学協議会 規程 第1条（目的）、第2条(7)(8)（審議事項）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>実践女子大学教育研究センター委員会 年間11回開催</p> <p>実践女子大学協議会 年間46回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>実践女子大学教育研究センターにてFDを推進し、当センターのFDワーキンググループにて活動を実施している。当センターは、全学の教育に係る諸施策の立案及びその推進を図るとともに、共通教育の企画・運営を行うことにより、本学の教育の充実・発展に寄与することを目的としている。また、本学の教育内容及び授業方法等の改善と向上を目的として、実践女子大学協議会の方針に基づき、ファカルティ・ディベロップメントを推進している。</p> <p>実践女子大学協議会とは、本学大学及び大学院の教学関係管理・運営に関する事項を審議するために置かれている。授業の内容及び授業方法の改善と向上を目的としたファカルティ・ディベロップメントの基本方針に関する事項および教育研究活動等の効果的な運営のための、教職員の能力及び資質の向上を目的としたスタッフ・ディベロップメントの基本方針に関する事項も審議事項となる。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD、SD研修会 ・ 授業方法・授業内容の改善に関する取り組み ・ 成績評価の検証 ・ 学生による授業評価アンケート、フィードバック <p>b 実施方法</p> <p>前年度末までにFD・SD実施計画の策定し、教職員へ周知する。開催日時、詳細については教職員専用グループウェアにて通知する。校務等で参加できなかった教職員については、後日、研修会の収録ビデオを配信し研修を行う。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会 <ul style="list-style-type: none"> 授業改善・学生の主体的な学びの推進「フロンティア型授業(PBL)の背景理論、運営方法、成績評価」2023年7月13日 参加教員93名 授業改善・学生の主体的な学びの推進「アクティブラーニング実践事例」2023年11月9日 参加教員63名 ・ 授業評価アンケート ③のとおり（全授業対象）

・FD・SD研修会

学生支援「正課外活動における学生の成長支援の現状と今後の展開」2023年11月30日 参加教員32名
内部質保証「内部質保証と自己点検・評価の推進」2023年6月22日 参加教員18名
内部質保証「教育プロジェクト報告会」2024年2月6日 参加教員75名
高大連携「交流機会の拡大」グループワーク 2023年6月29日 参加教員79名
社会連携「社会連携の進捗報告と事例共有」2024年1月18日 参加教員24名
研究推進関係「研究費マニュアル説明会」2023年4月13日 参加教員39名
研究推進関係「教員業績システム説明会」2023年5月18日 参加教員25名
研究推進関係「外部資金獲得のための動画講座」2023年7月21日-2023年9月19日 参加教員13名
情報セキュリティ「個人情報保護と情報セキュリティ」2023年10月12日 参加教員29名
情報セキュリティ「不振メールへの対策」2024年3月31日 参加教員164名
新採用教員研修会 2023年4月6日 参加教員12名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修の内容、授業アンケート結果に基づき各教員は本学の教育研究上の目的を達成するための資質・能力を備え授業の改善や授業方法の向上へ役立てるよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期 7月実施 後期 12月～1月実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員へは担当授業毎の集計評価結果を学習支援システム（LMS）に公開。
教員は集計結果に基づき学生へフィードバックを実施。
- ・学生へは当該履修授業の集計結果を学習支援システム（LMS）に公開。
- ・本学ホームページへ授業アンケート結果および授業改善等に関する報告書を公開。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際学部は、国際語である英語の運用能力とコミュニケーション能力を身につけるとともに、英語以外の外国語に慣れ親しみ、異なる民族、宗教、言語、価値観が交差する国際社会に対応した専門知識を修得し、国際交流を推進できる人材の育成を目的に設置された。

国際学科では、国際語である英語の高い運用能力と様々な人々に対応したコミュニケーション能力を背景に、学問としての言語・コミュニケーション研究、国際文化研究、日本文化研究、地域・観光研究という4つの研究領域に関する幅広い知識を活用し、国際社会で他者と協働しながら目標に向かうことのできる人材の育成を目的としている。

今後は、人材育成の目的達成に向け、日常的に学修成果の達成状況について点検・評価を行い、授業の工夫・改善、教育内容の充実に向けた取り組みを進めて行く。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和6年10月1日 公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和6年12月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和9年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○実践女子大学協議会規程

(平成27年3月19日制定)

改正 平成28年3月23日改正 平成28年4月13日改正
平成29年4月26日改正 2019年3月13日改正
2022年6月1日改正

(目的)

- 第1条 実践女子大学及び実践女子大学大学院（以下「本学」という。）の教学関係管理・運営に関する事項を審議するために、実践女子大学協議会（以下「大学協議会」という。）を置く。
- 2 大学協議会は、学長が教学の重要事項を決定するに当たり、教授会及び研究科委員会（以下「教授会等」という。）の意見を聴き、十分に協議を行う。
 - 3 大学協議会は、本学の教育課程の編成に関する全学的な方針を策定し、その検証・評価を行う。
 - 4 大学協議会は、本学の教育の質保証の責任を担い、自己点検・評価等の検証結果を改善・改革に反映するための方針を協議する。

(審議事項)

第2条 大学協議会は、次の事項を審議する。

- (1) 理事会付議事項である学部・学科・研究科・専攻の設置及び廃止並びに定員に関する事項
 - (2) 理事会付議事項である学則の改廃に関する事項
 - (3) 常任理事会付議事項である教学関係規程の制定及び改廃に関する事項
 - (4) 教員人事計画及び教員の採用・昇任に関する事項
 - (5) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
 - (6) 奨学金に関する事項
 - (7) 授業の内容及び授業方法の改善と向上を目的としたファカルティ・ディベロップメントの基本方針に関する事項
 - (8) 教育研究活動等の効果的な運営のための、教職員の能力及び資質の向上を目的としたスタッフ・ディベロップメントの基本方針に関する事項
 - (9) 前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する事項で、学長が予め教授会等の意見を聴取することが必要と認めた事項
 - (10) 第1号から第8号に掲げるもののほか、教授会等が審議し学長に提出された意見のうち、学長が審議が必要と認めた事項
- 2 前項第8号の審議にあたっては、事前に人事担当理事と協議するものとする。

(構成員)

第3条 大学協議会の構成員は、次のとおりとする。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長
- (4) 各研究科委員長
- (5) 大学教育研究センター長
- (6) 学生総合支援センター長
- (7) 教学事務局長
- (8) 学長室部長
- (9) 学生総合支援センター副センター長（事務職員）
- (10) 国際交流推進部長
- (11) 研究推進室部長
- (12) その他学長が必要と認めた者

(招集・議長)

第4条 大学協議会は、学長が招集し、議長となる。

2 学長に事故あるとき又は学長が欠けたときは、副学長がその職務を代行する。

(成立)

第5条 大学協議会は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

2 学長は、必要に応じて構成員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。

(学長の決定)

第6条 学長は、第2条に定める審議事項について、前条の規定により審議された事項を参酌し、決定する。

2 学長は、大学協議会における再審議が必要と認めるときは、改めて大学協議会にて審議を行うことができる。

(決定事項の報告等)

第7条 学長は、大学協議会で審議した理事会付議事項及び常任理事会付議事項について、常任理事会に付議する。

2 学長は、前条で決定した事項のうち、学園の経営にかかわる重要事項について、常任理事会に報告し、承認を得るものとする。

3 学部長は、大学協議会で協議し、学長が決定した学部運営上必要な事項を学部教授会に報告するものとする。

4 研究科委員長は、大学協議会で協議し、学長が決定した研究科運営上必要な事項を研究科委員会に報告するものとする。

(任期)

第8条 第3条第12号の構成員の任期は1年とする。

2 前項以外の構成員の任期は、役職の任期とする。

(事務)

第9条 大学協議会の事務は、学長室が行う。

(大学短大協議会)

第10条 学長は、大学・短期大学部の共通事項を審議するため、実践女子大学短期大学部協議会と合同で開催することができる。

2 前項の合同で行う協議会を「大学短大協議会」と称し、その運営は、大学協議会に準ずる。

(改廃)

第11条 この規程の改廃については、大学協議会の議を経て、学長が決定し、常任理事会に付議する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月23日改正)

この改正規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成28年4月13日改正)

この改正規程は、平成28年4月13日から施行する。

附 則(平成29年4月26日改正)

この改正規定は、平成29年4月26日から施行する。

附 則(2019年3月13日改正)

この改正規程は、2019年4月1日から施行する。

附 則(2022年6月1日改正)

この改正規程は、2022年6月1日から施行する。

○実践女子大学教育研究センター規程

(平成22年3月1日制定)

改正 平成25年7月24日改正 平成27年3月19日改正
平成28年3月10日改正 平成29年3月15日改正
平成30年3月22日改正 2019年3月13日改正
2022年6月1日改正

(趣旨)

第1条 この規程は、実践女子大学学則第11条第2項に基づき、実践女子大学教育研究センター(以下「センター」という。)に関する必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、全学の教育に係る諸施策の立案及びその推進を図るとともに、共通教育の企画・運営を行うことにより、本学の教育の充実・発展に寄与することを目的とする。

2 センターは、本学の教育内容及び授業方法等の改善と向上を目的として、大学協議会の方針に基づき、ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)を推進する。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 教育の改革、充実に向けた企画立案、調査研究及び各学部学科の教育課程編成の全体調整に関すること

(2) 学事日程、開講授業科目・コマ数の全体調整、時間割編成の基本方針に関すること

(3) 履修、成績評価、単位修得等、教務に関する重要なこと

(4) 共通教育の教育課程の編成に係る企画・運営に関すること

(5) 共通教育科目担当教員の選考に関すること

(6) 共通教育と専門教育との連携に関すること

(7) 学習支援に関すること

(8) 高大連携に関すること

(9) 教員養成に関する重要事項

①教員養成に関する基本方針の策定

②教職課程の設置及び廃止に関すること

③教職課程カリキュラム編成及び実施に関すること

④教職課程科目担当教員の選考に関すること

⑤教職課程に係る教育の自己点検・評価に関すること

(10) 特別任用教員の人事に関すること

(11) FDの実施に関すること。

(12) 学生による授業評価の実施に関すること。

(13) その他全学の教育に関すること

(センター長)

第4条 センターに、学長を補佐し、センターの業務を統轄する大学教育研究センター長(以下「センター長」という。)をおく。

2 センター長は、本学の専任教員の中から、学長が全学教授会の議を経て任命する。

3 センター長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(副センター長)

第5条 前条に定めるセンター長を補佐するために、センターに副センター長若干名をおく。

2 副センター長は、本学の専任教員の中から、センター長と合議の上、学長が大学協議会の議を経て任命する。

3 副センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 センター長に事故あるときは、あらかじめセンター長が指名した副センター長が、センター長の職務を行う。

(特別任用教員)

第6条 センターに、必要に応じて、特別任用教員をおくことができる。

(センター委員会)

第7条 センターに、第3条に掲げる業務を遂行するために、センター委員会をおく。

2 センター委員会は、次の各号に掲げる者で構成する。

(1) センター長

(2) 副センター長

(3) 各部門長

(4) 文学部長、生活科学部長、人間社会学部長

(5) 各学科・課程主任

(6) 言語文化教育研究センター長

(7) 教職センター長

(8) 教育総合サポート部長

(9) その他、センター長が必要と認めた者

3 委員は学長が委嘱する。

4 第2項第1号から第8号までの委員は、その職を退いたとき、委員の任期も終了する。第2項第9号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

5 委員長は、センター長がこれに当たる。

6 委員長は、センター委員会を招集し議長となり、審議の結果を全学教授会に報告又は提案する。

7 センター委員会は、教育総合サポート部との緊密な連絡のもとに運営される。

8 センター委員会は、議長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

9 センター委員会の運営を補佐するために幹事若干名をおく。幹事は教育総合サポート部職員がこれに当たる。

10 センター委員会の事務は、教育総合サポート部が行う。

11 センター委員会は、原則として月1回会議を開く。

12 センター委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ議事を開き、議決することができない。

13 センター委員会の議事は、出席委員の過半数をもってこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(教務部門)

第8条 センターの業務を円滑に実施するために、センター委員会の下に、教務部門をおく。

2 教務部門は、履修、成績評価、単位修得等、教務に係る連絡調整業務を行う。

3 教務部門は、教育総合サポート部、大学図書館及びキャリアサポート部と緊密に連携する。

4 事務は教育総合サポート部が行う。

(部門員)

第9条 教務部門は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 各学科から選出された専任教員各1名
 - (2) 図書館学課程から選出された専任教員1名
 - (3) 言語文化教育研究センターから選出された専任教員1名
 - (4) 教職センターから選出された専任教員1名
 - (5) センター長が推薦し、センター委員会が承認した者
- 2 前項各号の部門員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
 - 3 部門員は学長が委嘱する。

(部門長・副部門長)

第10条 教務部門に、部門の業務を統括するため、部門長をおく。

- 2 部門長は、部門会議の推薦に基づき、センター長が指名する。
- 3 部門長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 教務部門の運営を補佐するために各学部1名ずつ副部門長をおく。部門長に事故あるときは、あらかじめ部門会議の議を経て、部門長の指名した副部門長がその職務を代行する。

(部門会議)

第11条 教務部門の業務を円滑に実施するために、部門会議を開く。

- 2 部門長は、部門会議を招集し議長となり、審議の結果をセンター委員会に報告又は提案する。
- 3 部門会議は、部門員の3分の2以上の出席がなければ議事を開き、議決することができない。
- 4 部門会議の議事は、出席部門員の過半数をもってこれを決し、可否同数のときは、部門長の決するところによる。

(ワーキンググループ)

第12条 センター委員会は、必要に応じてワーキンググループを設けることができる。

- 2 センター委員会の決定に基づき、ワーキンググループに委員以外の者を加えることができる。
- 3 ワーキンググループの事務は、教育総合サポート部が行う。

(運営)

第13条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター委員会が定める。

(FDの実施報告及び公表)

第14条 センターは、本学におけるFDの実施状況を、年1回報告書にまとめて学長に提出し、公表するものとする。

(短期大学部との協議)

第15条 センター委員会及び教務部門は、必要に応じて、短期大学部の対応組織と合同で会議を開催する。

(改廃)

第16条 この規程の改廃については、全学教授会の議を経て、学長が決定し、常任理事会に付議する。

附 則

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成12年4月1日制定の実践女子大学教務委員会規程は、平成22年3月31日をもってこれを廃止する。
- 3 平成10年7月16日制定の実践女子大学情報教育委員会規程は、平成22年3月31日をもってこれを廃止する。

4 平成12年4月1日制定の実践女子大学教務部長に関する内規は、平成22年3月31日をもってこれを廃止する。

附 則(平成25年7月24日改正)

この改正規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月19日改正)

この改正規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月10日改正)

この改正規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月15日改正)

この改正規程は、平成29年3月15日改正から施行する。

附 則(平成30年3月22日改正)

1 この改正規程は、平成30年4月1日から施行する。

2 第7条第1項第2号の規定にかかわらず、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間は、教養教育部門はおかず、その業務は、第16条に定めるワーキンググループが、これにあたる。

附 則(2019年3月13日改正)

1 この改正規程は、2019年4月1日から施行する。

2 平成17年7月27日制定の実践女子大学FD推進に関する規程は、2019年3月31日をもってこれを廃止する。

附 則(2022年6月1日改正)

この改正規程は、2022年6月1日から施行する。